

「聖霊降臨の主日」の説教

金 大烈 神父 2010年5月23日(日)

《私が私らしくなるために》

おめでとうございます。

‘さゆり’という6歳の女の子がいました。ある雨の日、さゆりちゃんはお父さんの手を掴んで、おでん屋に入りました。その親子の姿を見たおでん屋の主人は、二人の姿があまりにもみずぼらしく見えたので、物乞いに来たと思い、「今日は店を開けません。」と答えました。その言葉を聞いても、さゆりちゃんはお父さんの手を強く握って店の真ん中の席に座りました。二人の座った姿を見た店の主人はその父親の目が見えないことに気づき、これから沢山のお客さんが来るのに、みずぼらしい身なりで店の真ん中に座られては気になると思い、さゆりちゃんを呼びました。「はい、なんですか?」と言って心配そうに主人をみつめました。「あなた方が座っている席は予約席で、もうそこは予約されているから違う席に移って下さい。」はい、わかりました。」結局トイレが見える隅の席に座り、「おでん二人前お願いします。」と注文しました。おでんが二人の前にそれぞれ一皿ずつ置かれると、さゆりちゃんは「お父さん、私が塩をかけてあげるね。」と言いながら、塩をかける振りをして自分のおでんを半分以上お父さんの皿に入れました。「お父さんおめでとう。今日はお父さんの誕生日だね。お父さんの一番好きなおでんを食べたかったらどう?」と言いました。お父さんは震える手でおでんを箸で持ち上げて口に入れました。その様子を見た店の主人はひどいことをしたと心を痛めてさゆりちゃんに謝り、餞をいっぱいあげました。そして代金は要らないと言うとさゆりちゃんは「そうするとお父さんの誕生日を祝ってあげた意味がなくなります。」「ああそうか、それでは50円だけ頂きます。」さゆりちゃんは50円払ってうれしそうに帰ったという話です。

今日は何の日ですか?「聖霊降臨の祝日です。」教会の創立の日で、誕生日でもあります。この物語を考えてみますと、目が見えないお父さんは私たちの教会です。教会が前が見えず、どのように流されるのかもわからない時、私たちがさゆりちゃんのようなきれいな純粋な心を持つ信者にならなければならないということです。教会の建物はどこへ行っても見かけは立派で、何百人もの人が入る聖堂を持っていたり、いろいろな人がそれぞれに活動しています。しかし、いろんな傷があるのが今の教会の姿じゃないでしょうか。教会を離れている人々、社会的な価値や考えで信仰をはかる人、何か信仰者らしくない人々によって教会が動いている。うちの教会は違うけれど、他の教会に行ってみると若者はほとんど見られません。お年寄りばかり、それも20~30人位。それが現実の教会です。傷だらけのある意味みずぼしくなった教会です。ヨーロッパに行っても東南アジアに行ってもアメリカに行ってもいろいろな問題があり、教会は心を痛めています。

ですから今日、皆様をお願いしたいのは、この‘さゆりちゃん’のような心が何より要求されているということを心に留めていただきたいということです。

今日は聖霊を願う日です。聖霊が私たちすべての人に注がれるように願う日です。どのように祈ったらいいでしょうか？ このように祈りましょう。「人を癒す能力より傷だらけの人を抱きしめられる温かな心をお許してください。いろいろなことで疲れている人々を偏見の目でなく、キリストの目を持ってその人を抱きしめられる勇氣、温かい心の持ち主になるように聖霊を送って下さい。」と祈りましょう。

口で御言葉を沢山しゃべっても何の意味があるのでしょうか？ 口で私は信者ですと言いながらイエス様が望んでいることに逆らうことばかりしていたら何の信者でしょうか？ 私たちのいろんな罪によって教会はどんどんみすばらしくなっています。私たちがあまり力はなくとも手を伸ばすことによって、抱きしめることによって、さゆりちゃんのお父さんが涙を流したように、教会も感動の涙を流せる、このようなことがすばらしいことじゃありませんか？

聖霊に不思議な能力でなく、人々や世界を変える温かい心をみんなが持つように、その温かい心によってお互い癒されるように、励まされるように、その温かさをお願いしましょう。いまの時代、教会が一番求めているのはさゆりちゃんが見せたような温かな心じゃないかと思います。

「父と子と聖霊」について尋ねると御父と御子のことはわかるが聖霊については曖昧な答えしかかえってこないことがほとんどです。昨年私は「聖霊は御父とイエス様の愛のエネルギーのような存在」と申し上げました。今日は少し違う表現をします。聖霊様は私たちが私たちに存在することができるようにさせる方です。司祭が司祭らしく、信者が信者らしく生きるためには聖霊様の働きが必要です。シスターがシスターらしく、修道者の姿を持つためには聖霊様の働きが必要です。人間が人間らしくなるためには聖霊様の働きがなかったらだめになります。ということは私たちが信じているイエス様の愛の力だからです。聖霊を求める心があれば、それは正しく私らしい私になるために、教会らしい教会になるためにそれを求める理由があることをもう一回意識しましょう。

おめでとうございます。